

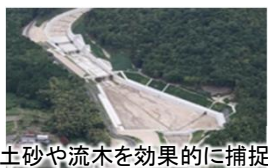
流域治水『砂防』～流域治水における砂防の取り組み～

令和6年1月時点

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえて、河川管理者等が主体となって国・都道府県・市町村・住民等のあらゆる関係者が協働して水災害を防ぎ、被害を減少させる「流域治水」が強力に進められている。
- 砂防事業では、流域治水の考え方にに基づき、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進めている。

氾濫を防ぐ・減らす

土砂・洪水氾濫対策 ～河川事業との連携～



土砂や流木を効果的に捕捉



高リスクエリアの抽出

- 土砂・洪水氾濫の高リスク流域
- 土砂洪水氾濫域

- 土砂と河川水が相まって氾濫する土砂・洪水氾濫等による被害が頻発していることを踏まえ、土砂や流木を効果的に捕捉できる砂防施設の整備を推進。

流域流木対策 ～林野事業との連携～



砂防事業による流木捕捉



林野事業による森林整備

- 流域全体の流木被害を防止・軽減するため、林野事業と砂防事業が協働して一体的で効率的な流木対策を実施。

総合土砂管理 ～河川・ダム・海岸との連携～



- 砂防事業とダム堆砂対策等の連携による総合的な土砂管理によって、より効果的な治水対策や堆積土砂の有効利用を実現。

グリーンインフラの整備、砂防堰堤を活用した小水力発電 ～GXSABOプロジェクト～



地域住民と連携した樹林整備等によって、景観等に配慮した土砂災害防止・軽減を実現



発電事業者等による小水力発電導入を支援

被害対象を減らす

土砂災害リスクを踏まえた防災まちづくり ～まちづくりとの連携～



- 災害レッドゾーンでの移転等によるリスク回避と、居住誘導区域等を保全するための砂防関係施設の重点整備を適切に組み合わせることで、早期の防災まちづくりを実現。

土砂災害警戒区域等の指定 ～市町村等との連携～



基礎調査の実施、土砂災害警戒区域等の指定



- 警戒避難体制の整備や土地利用規制等に資するべく、二巡目以降の基礎調査や、土砂災害警戒区域等の速やかな指定を推進。

被害の軽減・早期復旧等

警戒避難体制の構築支援 ～市町村等との連携～



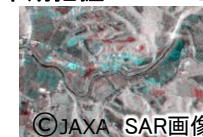
ハザードマップの作成



避難訓練の実施

- ハザードマップの作成や避難訓練の実施などの市町村等による警戒避難体制構築を支援。

人工衛星を活用した土砂移動の早期把握 ～JAXAとの連携～



©JAXA SAR画像

- 災害発生時の被害の概略把握や初動対応の迅速化を図る。

土砂災害危険度情報の提供 ～気象庁との連携～



土砂災害危険度情報の表示例

- 避難の参考として、降雨による土砂災害危険度情報を提供。

防災啓発・地域活性化の推進 ～ダイナミックSABOプロジェクト～



民間企業等による砂防施設を活用したツアー等の開催



学校関係者等と連携した防災教育(現地見学会や出前講座等)を実施



まちづくり・河川・林野部局、民間事業者、住民などあらゆる関係者と連携し、保全対象を中心に安全安心でにぎわいのある居住空間を創出